



## ★ 中部教育事務所管内の社会教育情報を発信します ★

平成24年度から、高知県内の社会教育関係事業及び中部教育事務所管内で活動する社会教育団体等の様々な活動を紹介することで、社会教育活動の活性化を図ることを目的に「社教NFTかわら版」を発行することにしました。

社会教育ではネットワーク＝「繋がり」、フットワーク＝「行動力」、チームワーク＝「協力」が三本の柱であると捉えて、「NFT」とネーミングしました。これから社会教育に役立つ情報をどんどん発信していきます。

## 取組みの紹介

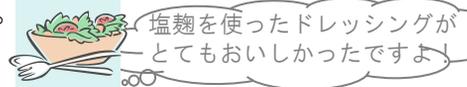
### ★高岡地区連合婦人会の取組みを紹介します。

平成24年度の努力目標

「一人ひとりが生き生きと暮らせる社会の実現に向けて  
～新たな時代の地域婦人会活動を考える～」

高岡地区連合婦人会の活動内容は、よりよい社会づくりのために、青少年の健全育成、男女共同参画の実現、少子・高齢社会への支援、地域の防災活動、北方領土返還要求等多岐にわたっています。さらに、それぞれの地域の婦人会（女性の会）では、清掃活動やボランティア活動、イベント等への参加協力、料理教室の開催や子どもの体験活動への支援等、努力目標を踏まえた様々な取組みが行われています。

### 活動紹介



平成24年度の総会・研修会が、5月11日（金）に86名の参加を得て、土佐市グランディールに於いて行われました。オープニングでは、現代の名工の島田和幸シェフが提案する地元の特産物を使ったランチメニューを、野菜ソムリエ（コミュニティ土佐）の方から説明を受けながら、美味しくいただきました。

その後の研修では、元気体操や土佐和紙を使用したティッシュカバー作りを体験しました。そして、総支配人兼総料理長である島田シェフによる「食で元気に」という講話では、2010年に「現代の名工」を受賞するまでのエピソードやホテル・レストラン経営について、また、最近は野菜を粗末にする若者が多くなってきたが近くのハウスで苗つけを体験すると扱いが変わってきたこと等、体験の大切さについてもお話を聞くことができました。また、愛情をこめて作ることがおいしさの秘訣であり、おいしいこと、安心安全であること、毎日食べても飽きないということ、丁寧に扱うことが料理では大事であることを教えていただきました。

とさあるくガイド  
「元気クラブ」代表による体操



研修会の交流や活動は、終始明るく笑いに満ちていて、参加された婦人会（女性の会）の方からは、「料理はおいしかったし、話も楽しかった。また来んといかんね！」という声が聞かれました。こういった活動が地域を明るくしている源であり、地域コミュニティづくりの一端を担っていることは間違いないと感じました。

今後も、明るく元気に活動を継続していただきたいと思います。

## ☆子どもの読書活動について



## 「子どもの読書活動推進計画 中央地区策定率100%に」



本県の、「第二次高知県子ども読書活動基本計画」は、家庭、地域、学校の役割を明確にし、基本的な考え方や具体的な達成目標を掲げて、取組みの方向性についてまとめています。

これを受けて、中央地区では全市町村、高岡地区でも須崎市、土佐市、日高村、中土佐町が「子どもの読書活動推進計画」を策定し、それぞれの地域の特性を活かした取組みを推進しています。どの市町村も、特に読み聞かせに力を入れて活動しており、様々な方が参加しています。地域の読み聞かせに参加されているご高齢の方からは「放課後子ども教室に参加して読み聞かせをやりゆうけんど、子どもらあに元気をもらいゆう。」という声をよく聞きます。ご高齢の方にとって子どもたちとの交流の場は、生きがいの場ともなっているようです。また、ノーテレビデーやノーゲームデーを毎月設定し、地区内の防災無線等を使い各家庭に呼びかけ、家族ぐるみで読書の時間をつくる取組みを行っている町村もあります。

国は、4月23日を「子どもの読書の日」に制定していますが、市町村でも独自の「子どもの読書の日」を設定して取組んでいるところもあります。それぞれの取組みで図書館（図書室）への来館者が増えたり、貸し出し冊数が増えたという声を聞きます。今後も各市町村の読書活動が高まり、読書好きな子どもが育つような取組みを行っていただきたいと思います。



## ☆担当の一言☆

「社会教育ってなに！どんな教育？」…こんな質問をよく受けます。

「社会教育」の定義は、社会教育法第2条で、「学校の教育課程として行われる教育活動を除き、主として青少年及び成人に対して行われる組織的な教育活動（体育及びレクリエーションの活動を含む）をいう」と示されています。

日本における教育は、この世に生を受けてから始まる**家庭教育**、年齢や発達に応じて共通に受ける**学校教育**、私たちの関心に応じていつでも学べるよう社会に配置された**社会教育**の3つから成ると説明されます。

社会教育は、社会状況によって柔軟に学習内容が編成され多様な人々が対象の主体となり組織的に営まれる教育活動と、学習そのものを目的としたグループやサークル活動、学習の成果を活かして社会に関わる組織や団体の活動があり、社会の中で必要に応じて教育の場が準備されるという意味で、誰もが主体になれる大きな可能性をもつ教育領域であるといえます。

社会教育活動は、様々な場所で様々な方法で行われています。行政組織においては、常に地域の情報を収集し、住民のニーズにあった活動ができるよう努めていくことが必要です。

私自身も社会教育に携わる者として、管内の社会教育活動が一層充実したものとなるよう、市町村教育委員会の担当の方や各社会教育団体の方々と連携し、地域の活力の源となる人材の育成や発掘に努めるとともに、心豊かで活力のある地域づくりに貢献していきたいと考えています。みなさん！共に学び、共に励みましょう！！



## 中部教育事務所の業務について

「志・とさ学びの日」を契機として、生涯を通し学ぶ喜びに満ちた教育的風土づくりを進めるために、各市町村の社会教育委員会やPTA、その他の社会教育諸団体と連携を図りながら支援・助言を行っていきます。また、情報収集に努め社会教育に役立つ情報を発信していきます。地域の活動等情報がありましたらお知らせください。

連絡先：高知県教育委員会事務局中部教育事務所  
TEL 088-893-6166 FAX 088-893-6167  
E-mail 310305@ken.pref.kochi.lg.jp  
担当：中嶋・中越